



第30回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和3年6月19日(土)開催

主催：長崎シミュレーション教育研究会
共催：長崎大学病院 長崎外来医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
救命救急センター

第 30 回 I C L S コー ス

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、12名全員初期研修医であった。

スタッフ(コースディレクター1名、サブディレクター1名、インストラクター6名)計8名で、指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

各ブースにおける感染予防対策

1. BLSブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
 - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
 - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)
- 3) 備品消毒箇所
 - (1) マネキン
 - ・胸部
 - ・頸部
 - ・顔面
 - (2) BVM
 - (3) AED
- 4) その他
 - ・受講者2人につき、マネキン1体とする
 - ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



2. 気道管理ブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
 - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
 - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)
- 3) 備品消毒箇所
 - ・気道管理マネキンの顔面
 - ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバーマスク
 - ・エアウェイ
 - ・喉頭鏡
 - ・気管チューブ
 - ・スタイレット
 - ・赤シリンジ
 - ・カフ圧計
- 4) その他
 - ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。



3. モニターブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・シナリオ開始時
 - ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



4. シナリオブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) BVM

(3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

(4) 輸液・薬剤

(5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



タイムテーブル

〈実施内容〉

開 催 日 時	令和3年6月19日（土） 9：20～17：00
受 講 者 数	12名
対 象	初期研修医
場 所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

〈スケジュール〉

			グループ(A)	グループ(B)
09:00～09:20	20分	受 付	シミュレーションセンター入口	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション	多目的研修室	
09:30～10:10	40分	BLS+AED	シミュレーション室1	シミュレーション室2
10:10～10:20	10分	休憩・移動		
10:20～11:10	50分	気道管理/モニター	気道管理 シミュレーション室1	モニター シミュレーション室2
11:10～11:20	10分	休憩・移動		
11:20～12:10	50分	気道管理/モニター	モニター シミュレーション室2	気道管理 シミュレーション室1
12:10～13:00	50分	昼 食		
13:00～13:10	10分	デモンストレーション+移動	BLS・ALSデモンストレーション シミュレーション室2	
13:10～14:20	70分	チーム蘇生 VF/VT	シミュレーション室1	シミュレーション室2
14:20～14:30	10分	休憩・移動		
14:30～15:20	50分	non VF/VT	シミュレーション室2	シミュレーション室1
15:20～15:30	10分	休憩・移動		
15:30～16:40	70分	メガコード	シミュレーション室2	シミュレーション室1
16:40～16:50	10分	移 動		
16:50～17:00	10分	終了式・修了証授与式	終了式・修了証授与式 多目的研修室	

午前：気道管理

インストラクター：★中岡 高山 赤松

アシスタント：

午前：モニター

インストラクター：★北山 立石 百木

アシスタント：

午後

シミュ 1

★中岡 高山 赤松

シミュ 2

★北山 立石 百木

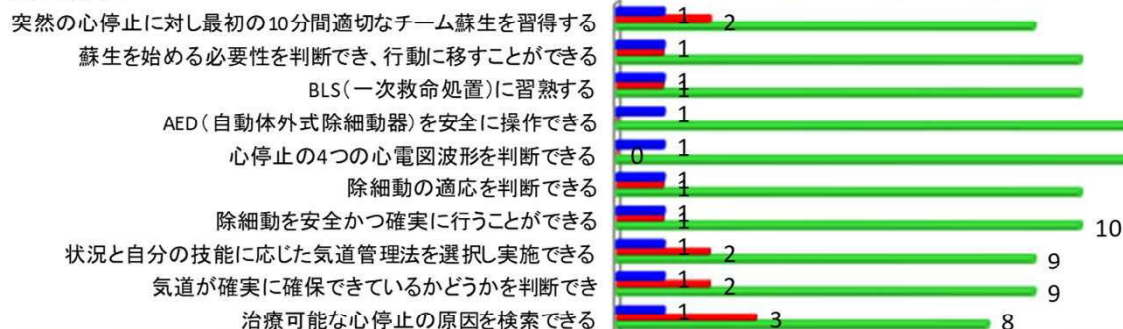
★ブースリーダー



◆アンケート◆ 受講生の声

1)到達項目について、到達できたと思いますか

自己評価



2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどうか変わりましたか？

- 変わった！(2名)
- しっかりと初期の動き方が分かったと思います。
- まだ十分ではないかもしれませんが、これからも頑張って向上していきたいです。
- おどおどしなくなった。
- 少しは落ち着いて対応できるようになったと思う。
- 少し自信ができたことは大きいです。
- 役割やプロトコルを認識できた。落ち着いて考えられるようになったと思う。
- 蘇生でやるべき行動1つ1つがぶつ切りでイメージされている状態だったが、講習会を受けて流れとして認識できるようになりました。
- 除細動の使い方や、どのようにして病態の原因を判断していくのかの、イメージがついた。
- 行動を起こすまでの時間が短くなった。
- 流れが体に身につき、知識も深まりました。

3)カリキュラムについて、お尋ねします

講習時間



指導内容(量)



講習内容に対しての 時間設定



その他の意見：とても実り多い講習でした。

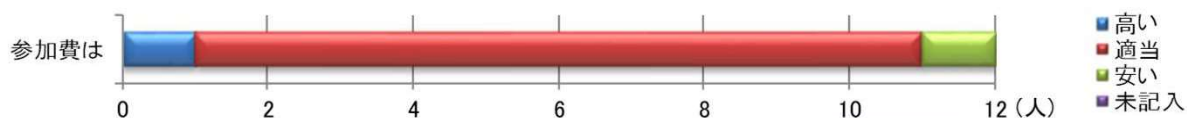
4)インストラクターに一言

- ありがとうございます 3名
- 準備はじめ、大変お世話になりました。
- 各ブース・各シナリオにおいて、とても丁寧にご指導していただき、とても良い講習となりました。
- お忙しい中とても丁寧に教えていただけて本当によかったです。
- 大変勉強になりました。
- 1日大変お世話になりました。
- 詳しく教えていただき、楽しかったです。救急研修の時にいかせるようにがんばります。
- 非常に丁寧なご指導ありがとうございました。

5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- 涼しくてよかったです。
- 特に気になる点なし…等多数

6)参加費は・・・



7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

- 。お菓子などいらないので参加費を安くして欲しいです。

8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

インストラクター希望 1名

- 。澤本 怜奈



◆アンケート◆ スタッフの声

8)講習会全体について

1. 講習時間について 全員適度
2. 指導内容(量)について 全員適度
3. その他意見
 - 。少数精鋭で、良いインストラクションだった。
 - 。気道管理が久々だったがサブディレクターに見本を見せていただきスムーズに行うことができた。
 - 。体調が悪い中でも、最後までやり切った受講生に感銘を受けました。
 - 。研修医のレベルに合わせた指導が必要。

9)運営者について

1. 当日の運営はどうでしたか？

- 。良い(3名)
- 。特にトラブルもなくありがとうございました。
- 。いつも、事前準備、ありがとうございます。

2. 当日までの準備はどうでしたか？

- 。良い(3名)
- 。事前にメールで時間割など送って頂き助かりました。
- 。必要の資機材が準備されており、良かったです。

10)今後のこの会についてひとこと

- 。継続してほしい。
- 。若手の育成を！
- 。研修医の先生達の生き生きとした姿に、パワーをもらいました。
- 。益々の発展を祈念しています。
- 。今後とも、よろしくお願い致します。

【インストラクターについて】

4) 自身はどうでしたか？

- 出来る仕事をした
- まあまあ
- ブースリーダーをさせて頂きましたが、上の先生方に助けていただいていたばかりでした。久々のインストラクターで思い出すまでやや時間が必要だった
- 病態や治療方法、疾病に応じた検査の値をもっと学ぶ必要があると感じました。
- 時間配分はまあまあでした。
- 進行が遅くなることがありました。

5) 同僚のインストラクターはどうでしたか？

- 非常によかった。意欲的でよかった。等
- 皆さん、落ち着いてプレゼン・説明をされていてすごいと思いました。
- スムーズに指導していてよかった
- 助けて頂きました。
- 百木さんが適切な声かけをしてくれて助かりました。北山さんはモチベーターとしてがんばってくれました。
- 全体の進行に関する相談や、受講生の反応を見ての微調整など、色々と助けてくださいました。
- どのように指導するかを考えながら、指導していたので良かったです。

6) アシスタント、チューターはどうでしたか？

- 参加なし

7) 到達項目を十分教えることが出来ましたか？



8) 講習会全体について

1. 講習時間について 全員適度
2. 指導内容(量)について 全員適度
3. その他意見
 - 少数精鋭で、良いインストラクションだった。
 - 気道管理が久々だったがサブディレクターに見本を見せていただきスムーズに行うことができた。
 - 体調が悪い中でも、最後までやり切った受講生に感銘を受けました。
 - 研修医のレベルに合わせた指導が必要。

9) 運営者について

1. 当日の運営はどうでしたか？
 - 良い(3名) トラブルなし
2. 当日までの準備はどうでしたか？
 - 必要の資機材が準備されており、良かったです。(他4名)
 - 事前にメールで時間割など送って頂き助かりました。

10) 今後のこの会についてひとこと

- 継続してほしい。
- 若手の育成を！
- 研修医の先生達の生き生きとした姿に、パワーをもらいました。



フォト

ギャラリー

